



明科中では、総合的な学習の時間に『プロジェクト型全校縦割り探究（7月～）』が実施されます。それに先だって、3学年は、「安曇野ふるさとづくり応援団」の方々を講師に、ワークショップ・フィールドワーク等による、探究について学ぶ機会を設けました。

1 明科中 3 学年総合『探究的に地域を学ぶ(ワークショップ)』 5 月 2 8 日 (木)



あやめタイム（3 学年総合的な学習の時間）スタート！ 3 学年だよりから

3 年生の総合的な学習の時間「あやめタイム」がいよいよ本格的にスタートしました。テーマは「探究」。自分たちの住む明科の街を、今までとは違う「探究の目」で見つめ直します。

外部講師として「安曇野ふるさとづくり応援団」の皆さんにお越しいただきました。探究とは、ただ調べるだけでなく、自分たちで問いを見つけ、深めていくこと。講師の方々からは、「探究のコツ」を伝授していただきました。ワークショップ（グループワーク）では、明科地域の「過去と現在の地図」を広げ、その変化をじっくりと比較しました。「昔はここに病院があったんだ！」「この道は今と全然違うね」など、地図を指差しながら驚きの声が上がりました。また、明科の「いいね！」（魅力）と「イマイチ」（課題）を付箋に書き出す活動では、観光客目線と子育て世代（定住者）目線で考え、生徒たちのリアルな本音が続出。それらをグルーピング（分類）して発表することで、「自分たちが解決したい問い」の種が少しずつ見えてきたようです。来週は、実際に明科の街を歩くフィールドワークを予定しています。明科の街を、「探究者」として歩く 1 日。何気ない風景が、特別な宝物に変わるかもしれません。

2 明科中 3 学年総合『探究的に地域を学ぶ(ワークショップ)』 6 月 3 日 (水)



フィールドワークに向け、明科地域の「いいね」と「イマイチ」を深掘りしました。観光面と子育て面での明科の「強み（有利な条件）」「弱み（不利な条件）」という観点から、グループで考えたり調べたりしました。生徒たちは、“疑問に思ったことや知りたいこと”“現地で確認したい場所や内容”をもとに、翌日のフィールドワークに臨みました。

3 明科中 3 学年総合『探究的に地域を学ぶ(フィールドワーク)』 6月4日(木)



あやめタイム ～フィールドワーク編～ 3学年だよりから

6月4日(木)には、先週の「安曇野ふるさとづくり応援団」の方々からのお話を受け、実際に明科の街に出てフィールドワークを行いました。各グループで事前に考えた「実際に確認したいこと」や「なぜ？」を直接歩いて確かめ、講師の皆さんと対話を重ねる姿に、「探求者」としての姿を見ることができました。自分で見て、聞いて、感じた明科の魅力を、探究学習の中でどのように形にしていけるのか、今後の展開がとても楽しみです。

ふるさとづくり応援団8名を講師に、生徒は5つの班に分かれて明科地域フィールドワークを行いました。生徒は、何をどんな理由で「いいね」「イマイチ」にしたのか、地域を回りながら、自分の目で見て評価していきました。街中では、通り道にあるお宅の方に話をお聞きする場面があり、現在と違う昔の街並みの話に興味深く耳を傾けていました。日常生活では目を向けないものの中に、驚くような発見があったり、新たな疑問を持ったりと、自分の足で歩いて、自分の目と耳で感じる事ができたフィールドワークになりました。

4 明科中 3 学年総合『探究的に地域を学ぶ(ワークショップ)』 6月12日(金)



最初に、これまでの探究的な学びのプロセスを振り返った後、各班で、フィールドワークのまとめをしました。成果の発表では、「いいね・イマイチ」に基づくキャッチコピーの発表もありました。「空き家リサイクル+災害意識向上=最強明科!」「古民家フル活用で、もう一度明科を盛り上げよう!めざせ人口1万人!」等です。一連の学びが、「自分がやりたいことの追究」に基づく7月からの総合「全校縦割り探究」に活かされることを願っています。